



様式第1号

集落「集落営農ビジョン」

作成日:平成25年10月31日

市町村名	岩美町	組織名	岩井機械組合
1 地区の範囲 岩美町 岩井 地区			
2 地区の概要			
水田面積			8.96 ha
主な水田栽培作物	水稻、大豆、白ネギ、スイートコーン		
農家数			23 戸
認定農業者数			経営体
人・農地プランの中心となる経営体数			1 経営体
3 組織化の目標(設立時期の目標は、事業実施年度内とする。)			
・設立時期(規約等の制定日)【平成25年 4月 1日】			
	組織形態(該当形態に○)	構成農家数	
【現状】事業開始年度 (平成25年度)	・未組織 ・ <u>作業受託型</u> ・共同利用型 ・協業経営型	戸 13	
【目標】事業開始翌年度 (平成26年度)	・共同利用型 ・ <u>作業受託型</u> ・協業経営型	戸 13	
注)集積率の目標値を現状より高い数値に設定することが困難な場合、構成農家数の増でも可。			
4 集積率(経営、機械の共同利用及び作業受託)の目標			
項目	【現状】	【目標】平成27年度	
集積面積 A	5.80 ha	6.00 ha	
対象水田面積 B	8.96 ha	8.96 ha	
集積率 A/B	64.7 %	67.0 %	
注1)集積率の目標は、50%超が採択要件			
注2)集積率の目標は、原則として現状よりも高い数値を設定すること。			
注3)集積面積の詳細は、別表「集積目標(実績)一覧」により作成。			
注4)目標は、事業実施最終年度とする。			

I 集落営農に対する基本方針(自由に記載)

【集落農業の現状と課題及び課題を解決するための対応方針】	
1 担い手の明確化及び水田利用集積目標	<p>岩井集落では水田約9haで水稻の作付及び生産調整を実施している。現在は高齢化により耕作者が能力的に限界にきている状況である。また、小規模な水田の耕作は作業効率が悪く敬遠されているので荒廃農地を出さないためにも13名の有志で任意であるが組織を立ち上げた。主たる目的は、荒廃農地の防止と生産コストの削減を目標にして活動する。作業は、個人所有トラクター、田植機及びコンバインを使用している。田植機は所有者が廃棄予定にしているため、組織で共同購入し、作業料金の軽減を図りたい。</p>
2 水田作付計画、生産調整の方針・具体策	<p>水田作付計画、転作計画及び岩井地区営農活性化協議会の方針により、基本的にはブロックローテーションによる水稻の転作を実施する。また、受託作業として、田植え作業と刈り取り作業を行う。</p>
3 農業用機械施設の効率利用	<p>組織では田植機1台及びコンバイン2台を個人所有機械の利用又は組織所有の機械で作業を行っている。田植機については、今後側条施肥等を備えた機械を導入し、既存の機械は廃棄する予定である。今後組織では農家の過大投資を避けるため個人での機械更新を避け農業経営のコスト削減を図りたい。</p>
4 世代交代、組織の後継者育成に関する方針	<p>現在2名のオペレーターで耕作しているが、構成員の中でオペレーターを育成することで多様な年代層を確保し、技術継承や後継者育成に努める。</p>
5 経営多角化の方針・具体策【経営多角化支援メニューを実施する組織においては必ず記入】	

II 農業用機械施設の整備方針

1 機械施設の整備方針

機械施設名	規格能力	台数等	金額(円)	導入予定年月	本事業による導入機械に○
田植機	5条植	1	2,210,000	H26.1	○